



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

第3号 2003年4月



手作りお花見弁当

目次

- p1・2…………職員紹介
- p3・4…………デイ便り
- p5・6…………グループホーム“みらい”
- p7・8…………くらしとしごと
- p9・10…………こんにちは高森寮さん
- p11…………ほほえみコーナー

職員紹介

事務所スタッフ

左から 手島 清士(施設長)、
榎木野 秀徳、
手島 智子(副施設長)

デスクワークで疲れても、毎日入れ替わり立ち替わり
利用者の方々がやってきて、楽しい話をしてくれます。
(利用者の方も、ここに来るのがちょっとした楽しみようです。)

生活区職員

生活区も唯一男子職員1名!!
恐い美女軍団に囲まれ…幸せ?
利用者の生活全般の支援をしています。



上段左から 住吉 富美子、大住 はつ子、岩本 多代子、
山村 京子、後藤 理恵、今村 恵理
下段左から 片山 浩美、立山 広滋

全体

宇藤 育三

~何でもござれ?~

デイサービスの送迎、
備品や機械の修理、点検。
皆から好かれ、頼られる存在です♥

寮の看護師さん

津留 きぬ子

利用者、職員の健康状態をチェック!!
今日は〇〇病院へ通院…明日は!?
利用者の外出にも一緒に行きま〜す。
時間外の呼び出しも…。

アニマルセラピー

左が小雪、右が母親のクーです



ぎっとワタシたちも役割を果たしている
と思う…ワン!! ワタシたちを毎日散歩に
連れて行ってくれるのが井 正文さんだワン!!



デイセンター職員

左から 興梶 真紀、山部 裕美子



花の独身2人組、仕事で忙しくてデートする暇がないとなげいています!?

作業担当

後列左から 栗屋 千代美、友岡 康幸
前列左から 後藤 裕子、堀 かおる、高宮 由賀理



きれいな女性4名に囲まれて少々鼻の下を長くしている〇〇さん!? 5名のスタッフで作業(養鶏、農作業、園芸etc)の支援をしています!!男も女もない!!カ仕事もなんのその!!

厨房職員

上段左から 藤田 のり子(栄養士)、立山 信子、工藤 哲子、工藤 直子



下段左から 高宮 良子、今村 キミエ、岩下 イツ子

栄養士他6名のスタッフで3食とも、温かい食事を提供しています♥ 週3回、町の配食サービスも実施しています。好評です。写真に写っているのがお弁当です

立山 定雄さん



夜勤者

桐原 利光さん



岩下 和生さん

3名の方が交替で、夜9:30から朝6:30までの勤務です!!「一月に約10日も奥様と離れて淋しい…!」という声がきけるかな!?

いざ出番だ…ワン!

(ちなみに私はムスメの小雪よ)



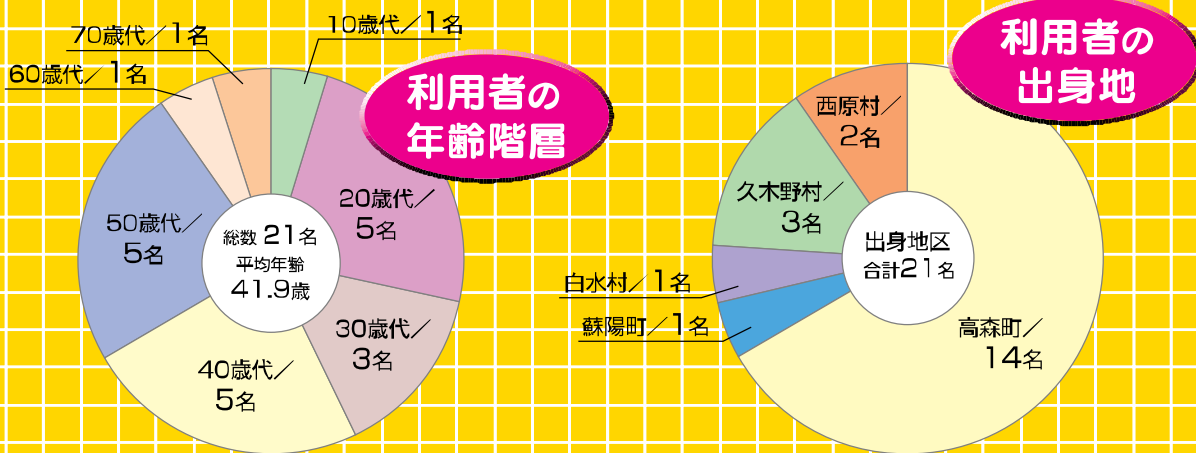
デイ便り

高森寮デイサービスセンター便り

昨年4月1日、南阿蘇の在宅障害者福祉の拠点施設としてオープンした高森寮デイサービスセンターは平成14年度は21名の利用申し込みがあり、現在19名の方に利用いただいています。月曜日から金曜日までの週5日間、毎日15名の方の受入れが可能です。午前10時から午後4時まで障害の区分に応じ文化活動を主に昼食や入浴・送迎サービスを行っています。送迎の所要時間は居住されている地域によって違います。遠い方は1時間程度乗車されますので自宅の出発時間は午前9時、帰宅時間は5時頃になります。入浴サービスは開設当初は3割程度の利用しかありませんでしたが、利用回数が増ごとに利用率も高くなり、皆さん入浴を大変楽しみにされています。

平成14年度の1日の利用人数は8名となっていましたが、平成15年度から15名となりました。障害者(知的障害・身体障害)の方であればどなたでも利用できますので、町村役場福祉担当課又は高森寮デイサービスセンターにお問い合わせのうえ、利用申し込みをして下さい。

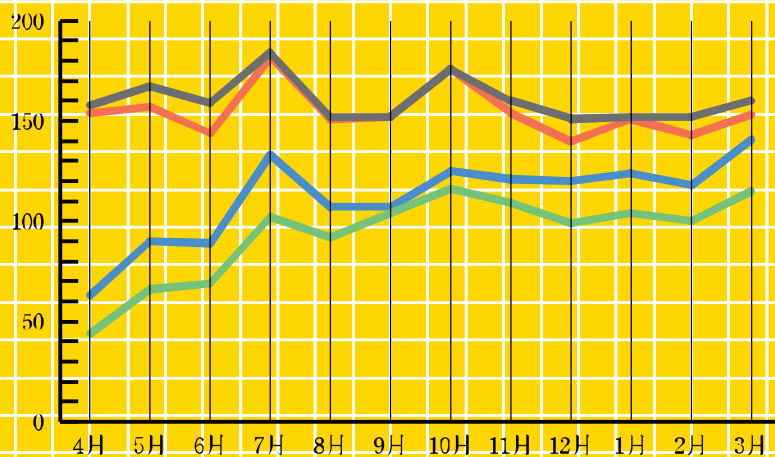
利用者状況(デイサービスセンター) H15年3月現在



デイサービスセンター利用状況

- 月間利用延べ人員
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス

(平成14年度高森寮デイサービスセンター利用実績報告書)



デイサービスセンターの一年

昨年オープンしたデイサービスセンターは、今年の4月で丸1年を迎えました。現在20名の方がそれぞれの曜日に利用されています。この1年に取り組んできたことの一部を紹介します。

そうめん流し



8月の暑～い日の昼食メニューでした。
「といの終わり。なかなか流れてこないね。」

ぶどう狩り



10月の終わりで、少し寒く感じましたが、甘くておいしいぶどうを満喫しました。「これが一番大きいかな」

クリスマス会



12月。今年もいい年でした。
全員で「カンパニー!!」

書き初め



1月。年の始めに今年の抱負など半紙にしたためてみました。「いやいや、なかなかの仕上がりで…。」

うらかな春の日差しのある3月のある日。
利用者の皆さんです

デイサービスセンターでは、今年も様々なことに取り組んでいく予定です。

お問い合わせ先

高森寮デイサービスセンター
高森寮

TEL 0967-62-0337
TEL 0967-62-1780

グループホーム“みらい”

ほほえみ第2号では、男性4名のグループホームについて紹介しましたが、今回は、女性2名で生活されている「ホームみらい」を紹介します。自立するために、昨年高森寮を退所された前田たよ子さんと、地域生活を体験するために、高森寮に籍を置いたまま生活をされている二子石智美さんの二人暮らしです。

普段、前田さんは仕事のためにアスカへ、二子石さんは高森寮へ、とそれぞれ通っておられます。そんなお二人と、世話人さん(2名のうち1名)の思いなどを伺ってみました。



前田さん、二子石さん二人そろって夕食の準備中。本日のメニューは？

「グループホームみらいでのせいがつ」 二子石 智美さん

私たちは、グループホームにきて5年目になります。グループホームでの生活はとても楽しいです。そして私は前田さんと二人でグループホームで生活をしています。グループホームと言うのは、掃除から炊事洗濯など自分たちでします。朝の炊事はお弁当と朝ご飯をいっしょにつくります。夜は世話人さんと一緒に作ります。昼になると一人はアスカの中で食事をとられています。一方私は下のグループホームの人たちと一緒にバスに乗り寮へお仕事へいっています。寮には肉用とたまご用のにわとりがいます。食肉用のにわとりは家庭用なので私たちは水をやったりします。餌づくりは飼料を使ったりします。餌を作る担当はけさおさんたちです。たまご取りは小出さんたちがします。後は作業棟で職員から頼まれた仕事をします。あとは繰り返し、繰り返しくなります。



世話人の桐原さんも加えて3人での夕食タイム。おいしい食事を囲んで会話も弾みます。

「前田たよ子さんインタビュー」

Q:高森寮に戻りたいと思うことはありませんか？

A:ホームでの生活が楽しくて、高森寮に戻りたくはありません。

Q:世話人さんが朝はおいでになりませんが、食事や弁当のことなど大変ではないですか？

A:大変とは思いません。お弁当には、肉の生姜焼き、魚のバター焼き、胡麻和えなどを入れます。玉子焼きは塩だけで味付けしています。
(玉子焼きは世話人さん絶賛の味らしいです。)

Q:アスカでの仕事について教えてください。

A:平成9年12月から勤めています。店内の掃除や陳列棚の整理、野菜の袋詰めなどをやっています。

Q:今、楽しみにしていること、やってみたいことなどあったら教えてください。

A:店休日に高森寮に遊びに行き、皆さんと話すことが楽しいです。夜、刺子をやっていますが、これからも続けていきたいと思います。また、花の生け方を習ってみたいとも思っています。



アスカで仕事の前田 たよ子さんです。お仕事、失礼しました。

「姉妹それぞれに…」

桐原 洋子さん

「ただいま」いつもの明るい大きな声で智美ちゃんが帰宅。先に帰っていたたよ子さん「お帰り」とこっちも大きな声でこたえている。玄関で雪をはらいながら「足下危なくなかった?」と問いかけると「うんゆっくり歩いてきた」とにっこり。そう彼女は、万事がスローペース。帰宅後の手洗い、うがい、受け持ちのトイレ掃除などマイペースでゆったりと、でも決して手抜きしないで、もくもくと働く。一方の何事もパツパツとしてしまうたよ子さんとは正反対。このコンビの共同生活が始まって、いい意味でお互い刺激し合いながらも、暗黙のうちにお互いに頼り合い、助け合い、日々とてもスムーズに暮らしています。途中から仲間入りした、この道ずぶの素人の私のほうが教えられ、反省させられるシーンもしばしば。

「今日のおかずこっちの一品は2人だけで作ってみない?」

「……………」

(イヤなのかなあ、立ってきたら手順は教えたいんだけど…)

(も少し待ってみよう…)

2、3分経過。相変わらずどちらも行動を起こそうとしない。作ってもらうのは次回にしよう…と諦めかけたその時

「智美ちゃん、〇〇を取って」とリーダー役のたよさんの一声。

「どっこいしょ」いつも従順な智美さんが重い腰をゆっくりとあげる。

この待ちの間、ここの微妙なひとときの感情が流れ、いつも反省と勉強させられます。春先の花壇の植え込み、夏の庭の草むしり、秋のこたつなどの冬支度…等々お姉さん役の掛け声と黙って付いてく妹役の微妙な組み合わせでホームの日々は穏やかに流れています。

洗濯



ある日の洗濯グループです。

「〇〇ちゃん!タオル干しとってね!」「くもっとるけん、乾燥機にかけようか!」「取り込みに行くよ!」元気な今村ハナ子さんの声が聞こえてきます。そのパワーたるや♥とうてい69歳とは信じがたい!!(失礼)。平均年齢〇〇歳。ハナ子さんのパワーを受けて今日も洗濯に燃える仲良しグループなのです。以前は文字が読めなかったのに、今では衣服の名前を見て振り分けるようになりました。

そうなんです!!名前が読めないと仕事できません。

くらしと暮らし



毎日洗濯干しが多くて
やおいがんばり!



たむむ洗濯物も
多して多して!!



ちょっとマットを
干してくるねー



お風呂の翌日は洗濯物
干が多いのよね~。



朝早くから干してますよ~。
今日は天気がいいから
良く乾きそう!!

歩 <



私達の活動は“歩く”ことです。自分のリズムで誰の手も借りずに一人で歩くところがミソかな!! 疲れたらひと休み～(ダレ、まだ休んでいるのは……)。

カセットから流れる曲に酔いしれながら、歌の練習もかねてます。今度は、のど自慢に出ようかな!? な～んて! 心ひそかに思っ

※押し車は個人個人にあった手作りです。色鮮やかな車、多彩な音楽、笑顔がいっぱいなグループです。一度お立ち寄り下さい。



足腰が弱ってきたので
毎日運動は欠かせません!!



専用の押し車で寮内好きな
ところを歩いていますよ!



木陰で一息ついてます



～休憩中～
ここは陽当たりが良くて
休憩するにはもってこいの場所!!



今日は日なたほっこ

こんにちは高森寮さん

頑張ってますね

ショッピングセンター・ナスカ

三井 和久さん

高森寮発足以来、食材を納めさせて頂いてもう二十数年になるかと思いますが、いつも大変お世話になっております。当時、幼く感じられた利用者の方も今ではすっかりたくましくなられて、一生懸命仕事をされている姿を見ると、我が事のように嬉しく思います。

最近では、利用者の自立の取り組みがいろいろとなされている様で、寮でしか会うことがなかった皆さんにもアス力での生活も慣れられた様子で、いきいきとした顔で買い物にいられています。

又、評判の高森寮の新鮮な卵を届けられる時はいつも元気よく挨拶されます。

そして何より忘れてならないのは、勿論「前田さん」ですね。前田さんの職場がスーパーみついアスカ店になってもう五年ほどになりますが、今では店内の掃除、品出し、配達のお手伝いと人一倍力持ちの前田さんは他の従業員からますます頼りにされている様で、赤いジャンパーを着て元気に働いています。

これからも仲良く楽しく一緒にお仕事頑張ってくださいね。皆で従業員旅行に行きましようね。



バスの中のひととき

産交定期バス運転手

荒牧 徳男さん

午前八時三分発、洗川行きバスに、グループホームを利用されている五名の方が乗車されます。皆さん朝から「おはようございます。」と、とても元気に声をかけて下さいます。最初は皆さんも少し不安の様でしたが、今では他のお客様と会話され、バスの中がとても明るくなったような気がします。五人以外の地域の方もおしゃべりがはずみ、笑顔の中にわきあいあいとバスは進みます。

グループホームを利用されている五人の方とは、何日かに一度は一緒になりますが一人でも姿が見えないと、心配になります。外の人に聞くと、今日は半日休みで帰ったと言うことで、ホッと一安心します。

これからも、私達は皆様に安心して乗ってもらえるように乗務員一同、安全運転に心がけてまいります。高森寮の皆さん、これからもますますお元気でがんばってください。



保護者の声

26年の歩み

原西 律子さん

高森寮の26年を思い出として振り返ってみると、兄64歳が寮に入所して26年になります。入所するには色々な思い出がありました。それも待ち望んで生まれてきた長男、可愛い初孫家族に幸福をもって生まれた兄、子ほんのうで優しい父、在宅が長く初めての施設入所となると説得するには大変な葛藤がありました。昭和52年、郡内に初めての施設、高森寮が創設され、早速入所手続きをとりました。完成していない施設を何度となく下見に両親と行き、52年5月いよいよ入所の日、両親と連れて行き、後髪を引かれる思いで帰ったのが昨日のように思い出されます。今日では、職員の方々の支援を受け、園芸作業を毎日楽しみにやっています。休日は、去年オープンしたデイサービスセンターで好きなカラオケを唄い、地域の人たちの理解の中、お店へ行き自分の嗜好で買い物をし、好きなコーヒーを飲むのが日課と聞いています。自立とまではいきませんが、自分の事が少しでも出来るのは、毎日支援して頂いている職員の方々のお陰だと感謝しております。4月から福祉も大きく変動の時代、制度が変わり措置制度から契約制度となり、国が示す社会福祉の理念基本に選べる選択、利用者の自己選択、自己決定を尊重した利用契約制度の導入。個人がその人らしい自立、グループホーム在宅のデイサービス、ショートステイ、ホームヘルパー事業と身近な地域福祉への動きが急速化するものと思われれます。保護者の一人として今後の厳しい制度の流れを少しでも冷静に受け止める、保護者の方々お互いの信頼を確立し、知的障害者福祉の充実を期待いたします。



職員の声

仕事をしつづけて思うこと

立山 広滋



現在、日本には約三万種類の仕事があります。この数字が多いのか少ないのかは分かりませんが、それぞれの仕事は、三万分之一ではなく、一億三千万、三億三千万にはないでしょうか。自分の仕事は自分の仕事だけに役に立つのではなく、それぞれが三万種もの仕事に繋がるのではないのでしょうか。卑しい職業はなく卑しい人間がいるだけである、といわれるように、それぞれの仕事はたくさんの人々に繋がっていきます。自分の友人は、「仕事に勤める事は、経営者や雇用主の為にではなく、その業務に務める事である」と言います。昔、武家政治の頃は、自分の主人が如何に愚かでも仕えなければなりませんでしたが、人心を掴んだ主人には、命を懸けて仕えました。今は愚かな人間には愚かな人間しか仕えない時代です。人と人、人の心と心が通い合い、その先にある確かなものを求めて、人は務めていくのではないのでしょうか。自分は少しでも多くの人の為に、自分の心を拓ける為に務めていきたいと思えます。

自分の国を守つてはいけないという変な法律のある変な国ですが、自分を守る為に、家族や友人を守るために出来る事は、心を込めた仕事であるという事を信じたい。

思うこと

後藤 理恵



私が高森寮に勤めて一年になりますが、この一年毎日毎日笑いながら仕事しているように思います。個性豊かな利用者、そして職員達。仕事の事で悩んだ時も、利用者とのさりげない会話や笑顔で、元気100%になります。支援する立場にある私たちですが、利用者の方に支えられる部分も多くあり、お互いが強く必要としあっていると感じる今日この頃です。

この一年で、働く前に抱いていた知的障害者のイメージと実際大きく違っているということに気づかされました。高森寮には就職する以前もボランティアや専門学校にいた頃の2週間の実習等を通じて来寮し、一般に知的障害と呼ばれるものを抱えている利用者や接した事はありません。しかし、継続して関わることで見えてくる部分もあつた様に思います。まだまだ知的障害を含めた多くの障害と呼ばれるものには、偏見が多く残っているように思います。偏見や間違つた情報のない世の中に近づいていくってくれたらと思うところです。



お知らせ

第10回

輝き大会

(菊池・阿蘇ブロック大会)

【日時】平成15年6月8日(日)

- 開会(9:20)
- 競技開始(10:00)

【会場】高森町民体育館

たくさんの
ご参加・ご声援
お待ちしております!!



瀬井 康子さん

昭和27年11月6日生 高森町出身 50才

バスハイキングに行った
時の笑顔です!!

私の仕事はシーツ交換です。
毎日頑張っています!!まかせてね♥
終わると洗濯物たぐみをしています。

利用者のいい顔を紹介します!!
ほほえみコーナー



編集後記 (ほほえみ会の声)

敷地内の花壇にも華やかさが加わりつつある中、「ほほえみ」第3号を発刊することができました。増刊号発刊から一年、利用者の皆さんの声、地域の皆さんの声を形に表すことで、これまでとは違った角度から高森寮を見つめることの大切さを感じています。「ほほえみ」は皆さんに待ち望まれることを期待しながら、これからも続きます。ご意見、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。今回は十月に発行予定です。

スタッフ一同

シリーズ

「苦情解決委員会

からの報告」

★苦情内容

洗濯物をハウスに干しているがズボンの裾が汚れて洗濯し直さなければならぬ。

★解決方法

上着類スボン類を一緒に干していた為、ズボンだけ干す場所を別に決めて、担当利用者と一緒に高さ調節をして説明する。「充分足りる」とのことので3本のサオをズボン干し用に決める。

★結果

ズボン用のハンガーには両側にピンチをつけているので一目瞭然で、洗濯班にも直ぐに定着した。

※これまでに5件の相談がありましたが一括で寮内で解決しました。

高森寮だより ほほえみ

編集/高森寮広報委員会 発行 高森寮 第3号平成15年4月発行

〈住所〉熊本県阿蘇郡高森町色見822

TEL 0967-62-1780 FAX 0967-62-2368